

事項	りんご育成系統「青り9号」の特性		
ねらい	<p>青り9号は昭和52年にりんご試験場であかねに王林を交配し育成した系統で、昭和59年に1次選抜、平成4年に2次選抜され、平成5年4月に現地適応性試験に供試された。</p> <p>青り9号は9月下旬の収穫時期で、着色、食味が良く、さらに自家摘果性があり、病害にも強いことから、つがるのあと中生種へつなぐ有望品種として、平成9年12月に品種登録申請したので参考に供する。</p>		
指導内容	<p>1 果実特性</p> <p>熟期：9月下旬</p> <p>果色：鮮紅色で縞は不明瞭である。</p> <p>果重：300g程度</p> <p>果形：円～長円形で果形がやや不揃いである。</p> <p>食味：果肉は硬く、肉質はやや粗雑で果汁が多く、食味は芳香があり、甘酸適和で良好である。蜜の発生はほとんどみられない。</p> <p>貯蔵力：常温で10日間ぐらい、冷蔵で10月末頃までである。</p> <p>その他：果梗が短く、こうあ部とがくあ部に多少さびが出る。 心カビの発生はほとんどみられない。</p> <p>2 その他の特性</p> <p>生態：生態が早く、開花は王林より1日早い。</p> <p>樹姿：若木では樹勢が強く、枝が立ちやすいが、花芽の着生が良く、早期結実性で腋花芽の着生も多い。成り込んでくると樹勢が衰弱する傾向である。</p> <p>耐病性：斑点落葉病、赤星病に強く、黒星病に対しても一般の栽培品種より強い。</p> <p>交雑和性：ふじ、つがるの花粉では和合性が高いが、王林とは不和合性である。青り9号は3倍体で、花粉の稔性が低いので授粉用花粉として利用できない。</p> <p>その他：収穫前落果、隔年結果はみられない。 自家摘果性があり、側果が自然に落ちやすく、落花20日後頃にはほとんどの果そうが1つ成り、2つ成り状態になる。</p>		
期待される効果	つがるから中生種につなぐ品種として位置付けられることから、品種構成の分散化が図られる。		
利用上の注意事項	<p>1 生態が早いので、霜害が発生しやすい場所では対策が必要である。</p> <p>2 果形がやや不揃いでさびが出やすいので、仕上げ摘果時に果形が良く、さびの発生が少ないものを残すようにする。</p> <p>3 本格的な苗木の供給は平成12年の見込みである。</p>		
担当	青森県りんご試験場 育種部	対象地域	県下全域
発表文献等			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 青り9号の生態 (青森りんご試)

品種名	発芽日	開花日	満開日	落花日
青り9号	4.8	5.8	5.12	5.18
王林	4.9	5.9	5.15	5.19

過去5年間の平均

表2 青り9号の果実品質 (青森りんご試)

収穫日	1果重 (g)	硬度 (1bs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
9.27	308	15.5	14.5	0.46

過去6年間の平均

表3 青り9号の貯蔵後の果実品質 (青森りんご試)

年	収穫日	調査日	1果重 (g)	硬度 (1bs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	備考
平6	9.26	11.2	304	13.0	14.6	0.41	普通冷蔵
平7	9.24	10.25	361	12.4	15.0	0.47	普通冷蔵
平8	9.30	11.6	302	13.9	14.1	0.47	普通冷蔵
〃	〃	10.9	282	12.6	14.5	0.39	室温
平9	9.25	11.13	303	14.7	14.0	0.41	普通冷蔵
〃	9.27	10.6	294	13.3	14.8	0.40	室温

表4 各品種・系統の開花数と結実後の落果の推移 (平成7年、青森りんご試)

品種名	供試花そう数	開花花数	1花そう当たり花数	累積落果率 (%)		
				落花10日後	20日後	30日後
青り9号	19	89	4.7	24.7	84.3	84.3
あかね	50	231	4.6	9.1	62.3	67.1
さんさ	20	88	4.4	1.1	29.5	42.0
ふじ	20	102	5.1	0.0	6.9	18.6

表5 斑点落葉病のほ場における発生状況 (平成6年、青森りんご試)

品種・系統名	調査葉数	発病葉率 (%)	一葉当たり病斑数	発病度
青り9号	255	1.8	0.02	0.3
つがる	431	2.3	0.02	0.4
ふじ	440	5.3	0.07	0.8
北斗	0	34.2	0.64	5.8
スターキングデリシャス	463	78.6	2.83	18.5

表6 黒星病のほ場における発生状況 (平成6年、青森りんご試)

品種・系統名	調査葉数	発病葉率 (%)
青り9号	186	0.0
あかね	119	0.0
ふじ	95	92.0
陸奥	110	74.1
紅玉	256	40.8

開花直前まで殺菌剤散布、その後殺菌剤無散布

表7 赤星病菌の接種による発病程度の品種・系統間差異 (平成8年、青森りんご試)

ほ場名	品種・系統名	調査葉数	発病葉率 (%)	一葉当たり病斑数
F-4	青り9号 ^Z	20	30.0	3.6
	ウースターペアメン	20	0.0	0.0
	ふじ	14	100.0	16.9
F-2	青り9号	10	0.0	0.0
	ウースターペアメン ^Z	10	40.0	3.2
	王林	20	73.3	51.1

Z) 供試樹の生育が弱く、接種に用いた葉が軟弱であったため、発生が多少みられた。

表8 青り9号の交配和合性 (平成9年、青森りんご試)

交配品種	交配数	結果実数	結実率 (%)
ふじ	49	36	73.5
つがる	50	48	96.0
王林	45	4	8.9